

主な活動

中国訪問・交流

毎年12月13日に行われる南京大屠殺死難者国家公祭に参加しています。南京の労働者・学生と交流し、若い人との日中友好交流をすすめています。

また、日本軍国主義の侵略遺跡や現代中国の最先端技術の工場や労働者施設、商業施設を見学しています。



南京大屠殺死難者国家公祭



在日殉難烈士劳工纪念馆(天津) 利濟巷慰安所旧址陈列馆(南京)



南京師範大学の学生と交流

日中労働者交流協会とは

1972年の日中国交正常化を受け、当時のナショナルセンター（労働組合全国中央組織）であった総評の単産と中華全国総工会との交流窓口として、1974年8月、日中労働者交流協会が結成されました。

市川誠初代会長の「日中不再戦の誓い」の精神を引き継ぎ、中国の労働事情への理解を深め、21世紀におけるアジアの平和と発展に向けて、日中労働者階級の友好と連帯を図るために活動しています。労働組合の活動家だけでなく、中国の労働問題、日中の友好・連帯に関心を持つ、学者、弁護士、市民が参加しています。

あなたも会員に

趣意書ならびに会則（ホームページに掲載）に賛同する個人・団体は誰でも会員になれます。会費は次のとおりです。個人会員＝年3000円、団体会員は年一口3000円。組織人数が1000人未満は一口以上、1000人以上10000人未満は二口以上、10000人以上は三口以上です。

会員になれば、会員同士の情報交換が行えます。会のイベントには参加費無料で参加できます。

また、若い人の中国訪問を応援する「日中交流助成基金」を設けました。一口年5000円です。基金への協力をお願いします。

中国を見て、知り、理解する活動をすすめましょう。

日中労働者交流協会

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2

全港湾気付 「日中労働者交流協会」

メール office@chinalaborf.org

ホームページ <http://www.chinalaborf.org>

郵便振替口座 00290-1-142947

<名義> 日中労働者交流協会

日中労働者交流協会



侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館に設置された「日中不再戦の誓い」の碑（2009/12/13建立、2024/12新調）

誓 い

われわれは、1931年および1937年を契機とする日本軍国主義の中国侵略戦争を労働者人民の闘争によって阻止し得なかったことを深く反省し、南京大屠殺の犠牲者に対して心から謝罪するとともに、哀悼の意を表し、ご冥福を祈ります。

われわれは、日中不再戦、反覇権の決意を堅持し、子々孫々、世々代々にわたる両国労働者階級の友好発展を強化し、アジアと世界の平和を確立するため、団結して奮闘することをあらたに誓います。

公元1985年 8月15日

抗日戦争及び反ファシズム戦争勝利40周年記念日
日中労働者交流協会会長市川誠ら有志の呼びかけによる南京大屠殺犠牲者の慰霊行事に賛同する有志一同